

公立小中学校施設におけるバリアフリー化の状況調査の結果（速報値）※

※令和2年5月1日時点。

※義務教育学校、中等教育学校（前期課程）を含む。

※速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する可能性がある。

I バリアフリー化の状況

1. 全体

(1) 校舎

総学校数	車椅子使用者 用トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター 〔1階建ての校舎のみ 保有する学校※ ² を含む〕
		門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から 教室等まで※ ¹	
28,131 (100.0%)	18,292 (65.0%)	22,022 (78.3%)	16,086 (57.2%)	7,610 (27.1%)

※¹ 建物の出入口から、建物の出入口階にある教室等までの経路。

※² 1階建ての校舎のみ保有する学校は248校（総学校数の0.9%）。

2階建て以上の校舎を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は7,362校（総学校数の26.2%）。

(2) 屋内運動場

総学校数	車椅子使用者 用トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター 〔1階建ての屋内運動場のみ 保有する学校※ ² を含む〕
		門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から アリーナ等まで※ ¹	
27,862 (100.0%)	10,251 (36.8%)	20,687 (74.2%)	15,859 (56.9%)	18,390 (66.0%)

※¹ 建物の出入口から、建物の出入口階にあるアリーナ等までの経路。

※² 1階建ての屋内運動場のみ保有する学校は、17,090校（総学校数の61.3%）。

2階建て以上の屋内運動場を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は1,300校（総学校数の4.7%）。

2. 配慮が必要な児童生徒等[※]が在籍する学校のバリアフリー化の状況

※ 円滑な移動等に配慮が必要な児童生徒や教職員。

(1) 校舎

- 配慮が必要な児童生徒等が在籍する学校数 6,451 校（総学校数 28,131 校の 22.9%）

配慮が必要な児童生徒等が在籍する学校数	車椅子使用者用トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター 〔1階建ての校舎のみ 保有する学校 ^{※2} を含む〕
		門から建物の前まで	昇降口・玄関等から 教室等まで ^{※1}	
6,451 (100.0%)	5,031 (78.0%)	5,474 (84.9%)	4,616 (71.6%)	2,611 (40.5%)

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にある教室等までの経路。

※2 1階建ての校舎のみ保有する学校は26校（配慮が必要な児童生徒等が在籍する学校数の0.4%）。

2階建て以上の校舎を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は2,585校（配慮が必要な児童生徒等が在籍する学校数の40.1%）。

(2) 屋内運動場

- 配慮が必要な児童生徒等が在籍する学校数 6,421 校（総学校数 27,862 校の 23.0%）

配慮が必要な児童生徒等が在籍する学校数	車椅子使用者用トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター 〔1階建ての屋内運動場のみ 保有する学校 ^{※2} を含む〕
		門から建物の前まで	昇降口・玄関等から アリーナ等まで ^{※1}	
6,421 (100.0%)	2,639 (41.1%)	5,167 (80.5%)	4,164 (64.8%)	4,040 (62.9%)

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にあるアリーナ等までの経路。

※2 1階建ての屋内運動場のみ保有する学校は、3,588校（配慮が必要な児童生徒等が在籍する学校数の55.9%）。

2階建て以上の屋内運動場を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は452校（配慮が必要な児童生徒等が在籍する学校数の7.0%）。

3. 避難所に指定※されている学校のバリアフリー化の状況

※ 災害対策基本法に基づく指定避難所の指定が行われていない場合は、従来の地域防災計画に基づく避難所を含む。

(1) 校舎

- 校舎が避難所に指定されている学校数 22,633 校 (総学校数 28,131 校の 80.5%)

校舎が避難所に指定されている学校数	車椅子使用者用トイレ	スロープ等による段差の解消		エレベーター 〔1階建ての校舎のみ 保有する学校を含む〕
		門から建物の前まで	昇降口・玄関等から教室等まで※ ¹	
22,633 (100.0%)	15,106 (66.7%)	17,718※ ² (78.3%)	13,265 (58.6%)	6,148※ ³ (27.2%)

※¹ 建物の出入口から、建物の出入口階にある教室等までの経路。

※² 全体における割合から推計。

※³ 全体における割合から1階建ての校舎のみ保有する学校は200校(避難所に指定された学校数の0.9%)と推計。2階建て以上の校舎を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は5,948校(避難所に指定された学校数の26.3%)。1階建ての校舎のみ保有する学校と合わせて6,148校と推計。

(2) 屋内運動場

- 屋内運動場が避難所に指定されている学校数 26,430 校

(総学校数 27,862 校の 94.9%)

屋内運動場が避難所に指定されている学校数	車椅子使用者用トイレ	スロープ等による段差の解消		エレベーター 〔1階建ての校舎のみ 保有する学校を含む〕
		門から建物の前まで	昇降口・玄関等から教室等まで※ ¹	
26,430 (100.0%)	9,804 (37.1%)	19,624※ ² (74.2%)	15,207 (57.5%)	17,479※ ³ (66.1%)

※¹ 建物の出入口から、建物の出入口階にあるアリーナ等までの経路。

※² 全体における割合から推計。

※³ 全体における割合から1階建ての屋内運動場のみ保有する学校は16,212校(避難所に指定された学校数の61.3%)と推計。

2階建て以上の屋内運動場を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は1,267校(避難所に指定された学校数の4.8%)。1階建ての屋内運動場のみ保有する学校と合わせて17,479校と推計。

Ⅱ バリアフリー化に関する整備計画の策定状況

計画や方針等^{※1}がある学校設置者^{※2} 14.9% (269 設置者/1,810 設置者)

※1 所管する学校施設に係るバリアフリー化に関する計画や方針等。インフラ長寿命化計画に基づく個別施設計画や教育振興基本計画その他の計画・方針等において、所管する学校施設に係るバリアフリー化に関する整備計画について記載してある場合を含む。

※2 特別支援学校のみ設置する学校設置者を含む。

Ⅲ バリアフリー化の予定

(1) 校舎

校舎におけるバリアフリー化の予定	車椅子使用者用トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター (1階建ての校舎のみ 保有する学校を含む)
		門から建物の前まで	昇降口・玄関等から教室等まで ^{※1}	
整備済み(再掲)	18,292 (65.0%) ^{※2}	22,022 (78.3%)	16,086 (57.2%)	7,610 (27.1%)
令和2年度	18,641 (66.3%)	22,096 (78.5%)	16,215 (57.6%)	7,781 (27.7%)
令和3年度	18,917 (67.2%)	22,161 (78.8%)	16,305 (58.0%)	7,952 (28.3%)
令和4年度以降	20,051 (71.2%)	22,468 (79.9%)	17,048 (60.6%)	8,676 (30.8%)

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にある教室等までの経路。

※2 学校施設全体 (28,131 校) に対する割合。

(2) 屋内運動場

屋内運動場におけるバリアフリー化の予定	車椅子使用者用トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター (1階建ての屋内運動場のみ 保有する学校を含む)
		門から建物の前まで	昇降口・玄関等からアリーナ等まで ^{※1}	
整備済み(再掲)	10,251 (36.8%) ^{※2}	20,687 (74.2%)	15,859 (56.9%)	18,390 (66.0%)
令和2年度	10,593 (38.0%)	20,774 (74.6%)	15,969 (57.3%)	18,414 (66.1%)
令和3年度	10,859 (39.0%)	20,873 (74.9%)	16,067 (57.7%)	18,445 (66.2%)
令和4年度以降	12,328 (44.2%)	21,271 (76.3%)	16,879 (60.6%)	18,598 (66.8%)

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にあるアリーナ等までの経路。

※2 学校施設全体 (27,862 校) に対する割合。